

知識

ハザードマップ

問題

誰かを救える、
ものとは何か。

土砂災害の危険を知る

危険性
を確認

四 万十町には、**2,048**か所にも及ぶ**土砂災害警戒区域等**があります。ハザードマップで、お住まいの地域の土砂災害の危険性を確認しましょう。ここでは、ハザードマップの見方について紹介します。

▼ハザードマップ〈大正地域の一部〉



ハザードマップの見方

土砂災害**警戒区域**〈**イエローゾーン**〉

➡➡➡ 土砂災害の恐れがある区域

土砂災害**特別警戒区域**〈**レッドゾーン**〉

➡➡➡ 建物が損壊し、住民に大きな被害が生じる恐れがある区域

土石流 がけ崩れ (急傾斜地)	➡	青枠	の	黄色	➡➡➡	イエローゾーン
	➡	青枠	の	赤色	➡➡➡	レッドゾーン
	➡	赤枠	の	黄色	➡➡➡	イエローゾーン
	➡	赤枠	の	赤色	➡➡➡	レッドゾーン

※地すべりの危険性も確認することができます。



現在、高知県により特別警戒区域の指定作業が進められており、指定手続き中の区域については黒色の枠となっています。



ハザードマップの入手方法

1

🔍 高知県の土砂災害危険度情報

検索



➡➡➡➡

右のQRコードからでも閲覧できます。



2

右上タブの「**どこが危険なのかを知る**」をクリック



3

四万十町を拡大してみる〈カーソルでズームアップ〉



右上にある「**地理院地図(シームレス空中写真)**」をクリックすると、航空写真で見ることができます。



降り続く**強い雨**の怖さ

静岡県熱海市を襲った土砂災害の原因の一つは、局地的な線状降水帯の発生でもなく、目の前が見渡せなくなるような記録的な大雨でもなく、強い雨が長く降り続いたことでした。

注目ワード

線状降水帯とは



次々と発生する発達した雨雲が列をなして、長時間にわたってほぼ同じ場所を通過または停滞する雨域です。発生すると甚大な被害をもたらす恐れもあります。

土砂災害を招く雨にも注意

土砂災害の危険性がある場所とは